



いいじま 飯島 まもる 衛 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 踏み間違い防止装置に助成を

## 答 実施に向けて協議している

**問**

高齢ドライバーによる事故で、運転操作の誤りが全体の30%を占めている。対策に踏み間違い防止装置の推進と、設置へ助成を要望するが。

**答**

町民生活課長 県内で実施している自治体もあることから、来年度に向け予算など協議している。

**問**

高齢者を狙った特殊詐欺の予防対策として、「通話の自動録音装置」があるが、購入費に助成ができないか。

**答**

町民生活課長 助成について、予算など検討する。

**問**

猫などの多頭飼育崩壊など報道があるが、町での実態は。

**答**

町民生活課長 相談など該当事案はないが、事案が発生すれば、県の動物愛護センターと連携し対応。

**問**

戦後74年が経ち、当時の貴重な写真

**問**

などが散逸する懸念がある。町で保存活用できないか。

**答**

町長 歴史的価値のあるものは、寄贈を受けて保存し、展示など含めて有効活用したい。

**問**

駒寄スマートIC西など、工業誘致

**答**

エリアへの企業誘致の推進と、優遇措置の制定の考えは。

**問**

町長 前橋市が計画している産業団地の動向を踏まえ、県や前橋市と情報交換に努めたい。

**答**

将来を見越した道路網の整備が必要

**答**

産業建設課長 大型商業施設の出店に伴う交通渋滞などが懸念され、スピード感を持って対応していきたい。また、吉岡バイパスの延伸と、漆原・総社線などの事業を進めたい。



企業誘致の推進に期待（駒寄スマートIC西側の工業誘致エリア）

## 船尾滝への道の現状と見通しは

## 答 群馬DCに向け工事進める

**問**

船尾滝への立ち入り禁止の現状と見通しは。

**答**

町長 安全確認できず、立ち入り禁止が続いている。来年4月の群馬ディスプレイ（DC）に向け、歩行者が安全に通行できるように工事を進める予定。

**問**

10月より幼稚園・保育園の無償化が

**答**

始める。0歳児から2歳児の無償化や小学校の給食費無料、または半額についての考えは。

**答**

町長 今後の国の交付金や町の負担を考え合わせ、検討したい。



かなや やすひろ 議員 金谷 康弘



録画映像は  
こちらをCHECK

# 林道栗籠・井堤線の設計変更を

## 変更作業を進めている



明治当時の姿が現れたデ・レイケ堰堤自害沢9号

柴崎町長の記事の大見出しに「デ・レイケ堰堤にも光」とある。町長に真意を問う。

**答** 町長 吉岡の地を荒廃から百数十年の間、守り続けてきた貴重な土木遺産である認識は、今も変わらず持っている。今後、文化的・防災教育的な側面を含め活用したい。

**問** デ・レイケ堰堤自害沢3号から9号

**答** 長 洪川土木事務所を中心、関係機関が勉強会を始めている。各機関と連携して榛名山麓一体の地域振興を検討。登録有形文化財については経験が無い、情報収集に取り組みたい。

## 吉中の未来に八幡山Gの見直しを

### 総合的・計画的に取り組む

**問** 吉中の部活動では、3年生を含み陸上部員80人、サッカー部員50人と大所帯。

**答** 町長 何らかの形で見直しを考えた。来年度策定予定の総合計画や都市計画、

これらの部員が一斉に練習を始めると、大きな練習場が必要。吉中の生徒のために、八幡山グラウンドの整備計画の見直しを。

公共施設総合管理計画など、さまざまな観点からの検討が必要。総合的・計画的に取り組んでいく。

**問** デ・レイケ堰堤自害沢9号の発見。平面的だが、土砂撤去で明治当時の姿が現れた。支障を来す林道栗籠・井堤線工事の設計変更を。

**答** 町長 林道を下流にずらし、左岸側の中心線を山側に振るなど変更作業を進行。

**問** 林道が完成すると、公道からすぐ見られるデ・レイケ堰堤となる。近代遺産としての認識、堰堤が機能する防災・減災への意義の認識を高める最高の教材。整備計画を。

**答** 産業建設課長 駐車スペース整備やデ・レイケの功績、土

木遺産、堰堤が機能する防災・減災効果が分かる説明看板を検討。

**問** 9号堰堤の全体の掘り出し、上流・下流の河床の調整をして、全容の解明を。

**答** 産業建設課長 全体掘り出しの整備計画は、現時点での安定の危惧、また測量などが必要で、慎重な検

**問** 現時点での安定は確かだが、築造時の明治期がベースの安定。基準を現在に置いて安定を考えるべきでは。

**答** 産業建設課長 県の洪川森林事務所、土木事務所の専門の技術者と、今後協議。

**問** 上毛新聞の「わが町のビジョン」で、



こいけ はるお  
**小池 春雄** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## スラグ問題 4年が経過したが

## 答 適切な対応へ 引き続き協議

**問**

町のホームページを見ると、大同特殊鋼株式会社渋川工場から排出された、毒入り鉄鋼スラグの件が、現在もまだ載っている。町の公共工事

で町内17カ所で使われ、適正に撤去されずに、存置ぞんちという言い方で放置され4年が経過している。町長には町の財産および生命を守る義務があるが。

**答**

町長 町民の不安解消と、健康への影響を防ぐことが重要と考え、スラグが用いられた町の17カ所について、鉄鋼スラグの排出者である大

同特殊鋼株式会社に對して、生産者としての責任を求め、要望書を提出。回答を求め報告されたが、今後も将来にわたり、適切な対応をするよう、引き続き協議を行う。

**問**

榛東村のメガソーラーのある場所は吉岡町の水源。新聞報道では、「地球にやさしい再生可能エネルギーの発電所が、有害な鉄鋼スラグで造成された土地の上に建てていた。大同特殊鋼株式会社渋川工場から排出された鉄鋼ス

ラグを使用。砕石に関する仕様書や材料証明書を村に提出してなかった」との記事が載っていた。吉岡町の水源であることは確認されている。六価クロム・フッ素が基準値を上回っている。被害が出る前に榛東村と一緒に撤去を求めていく必要があるが。

**答**

町長 大同特殊鋼株式会社に対して生産者としての責任を求め、榛東村には、根気強くお願いしていく。

## 19歳までの医療費無料化を

**答**

今後の検討課題とする

**問**

子育て支援を掲げた。今、全国で500を超える自治体が、19歳までの医療費の無料

化を実施している。隣の榛東村でも来年度から実施すると聞いているが、町長の決意は。

**答**

町長 持続可能な制度とすることも踏まえ、今後の検討課題とする。

**問**

町の教育長として、全会一致で再任された。児童生徒を取り巻く環境は大変厳しい問題があると思われていると思うが、どのように対応していくのか、思いは。

**答**

教育長 そこに住みたいと思えるような町に、町の教育が、いつそう充実できるように、身を尽くして頑張っていきたいと思う。1年間に児童、生徒は千時間授業を受ける。この時間の充実が教育の原点。原点に立ち返り充実に取り組む。



アスファルトで被覆されたが、スラグ問題の根本的な解決には至っていない  
(南下古墳公園駐車場)



むらこし てつお 村越 哲夫 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

# 吉岡バイパスの延伸は

## 県道として令和9年までに着手

**問** 吉岡バイパスの延伸および川久保踏切の拡幅工事は。

**答** 町長 吉岡バイパス大久保上野田線は、県道として令和9年までに着手と、県土整備プランに位置づけられた。また、川久保踏切については、立体交差から平面交差への変更に関し、現在、各

種調査や県など関係各機関との調整を、渋川市が行っている。令和2年度末までに、渋川市が都市計画を見直す方針を定めたいと報告を受けている。引き続き渋川市と連携し、県に働きかけをしたい。

**問** 町道下野田・上野田線の道路標識の改善を。

**答** 町民生活課長 停止標識については、渋川警察署に平成30年12月に上申してある。また、カーブミラーの設置は、優先度・予算を考慮しながら随時設置を進める。

**問** 町役場付近の狭い町道の拡幅を。

**答** 産業建設課長 5年ほど前に、小規模土地改良事業として、道路用の側溝のふたを町が設置し、通り抜けが容易になっている。拡幅については、地権者の協力も必要となる。地域の課題に対する要望は、緊急度や通学路などを優先し、順次対応していきたい。



吉岡バイパスの延伸が待たれる（関越自動車道下野田橋カルバート）

## 立地適正化計画の進展は

**答** 特定用地制限地域を町全域に設定

**問** 立地適正化計画は、どのように進んでいるのか。

**答** 産業建設課長 特定用途制限地域を全域に設定。小中学校の半径500m圏内、駅から800m圏内と幹線道路を除き、集合住宅などの建築を制限し、緩やかな居住を誘導。空き家の増加防止を図る。

**問** 農業委員会法の改正後の状況は。

**答** 町長 現在は農地部会と農政部会は廃止され、選出方法も変わり事務や役割分担も明確になった。

**問** 商業用途地域の農地の保全管理は。産業建設課長 所有者などの意向も

**問** 吉中生の自転車通学や事故防止への対応は。

**答** 町長 交通安全教室の開催やマナーアップ運動を実施。下校時には教職員が安全指導を行っている。



さかた かずひろ  
**坂田 一広** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

# 障害者差別 解消条例の 制定を

## 答 今後の検討 課題としたい

**問** 障害者福祉を推進するため、障害者差別解消条例の制定を。

**答** 町長 条例制定の必要性などを含め、今後の検討課題としたい。

**問** 手話言語条例はいつ議会に提案されるのか。

**答** 町長 本年12月議会に提案できるように準備している。

**問** 2040年問題に対する町長の認識は。

**答** 町長 国の認識を踏まえ、町の人口ビジョンで示した方向性を維持できるように、施策などを立案したい。

**問** インフラの老朽化への対応は。

**答** 財務課長 公共施設等総合管理計画や個別施設計画で対応。

**問** 公共交通についてはどう考えるか。

**答** 総務政策課長 現在の公共交通の利用拡大を進めるとともに、先進事例について

注視していきたい。

**問** 関東平野北西縁断層帯による地震があった場合、被害はどの程度か。

**答** 町民生活課長 町では、震度6弱が予想され、最大で死者0・7人、負傷者34・8人、全壊家屋44棟と半壊家屋が270棟と予想されている。

## 行政改革に対する町長の考えは

**答** 不断の努力を続けていく

**問** 行政改革に対する町長の見解は。

**答** 町長 常にアンテナを張り、自らを省みて、不断の努力を続けていくことが大事。

**問** 町独自にクレジット納付など、多様な税や料の納付方法はできないか。

**答** 会計課長 情報収集や調査を行い、

町民の利便性の向上を図るため検討を進めた

**問** 公共工事の適正化についてはどうか。

**答** 財務課長 電子入札については、県のシステムを利用できるように検討を進めたい。

**問** ※自治体クラウドの進捗状況は。

**答** 総務政策課長 県の検討部会の結果はもちろん、全ての可能性、選択肢を排除せず、今後とも検討を続けたい。

**問** SNSで町の情報を発信できないか。

**答** 総務政策課長 他市町村の事例などを参考に、引き続き検討を深めたい。



クレジット納付など多様な納付方法は、町民の利便性向上と窓口業務の軽減につながる

### ミニ解説

※自治体クラウド  
自庁舎での情報システムの管理・運用に代えて、外部のデータセンターを利用するもの。